

19
王
聖徒伝 240

偶像を廃し 主だけを拝す

エレミヤ書 19章 ベン・ヒノムでの裁きの宣告

アウトライン

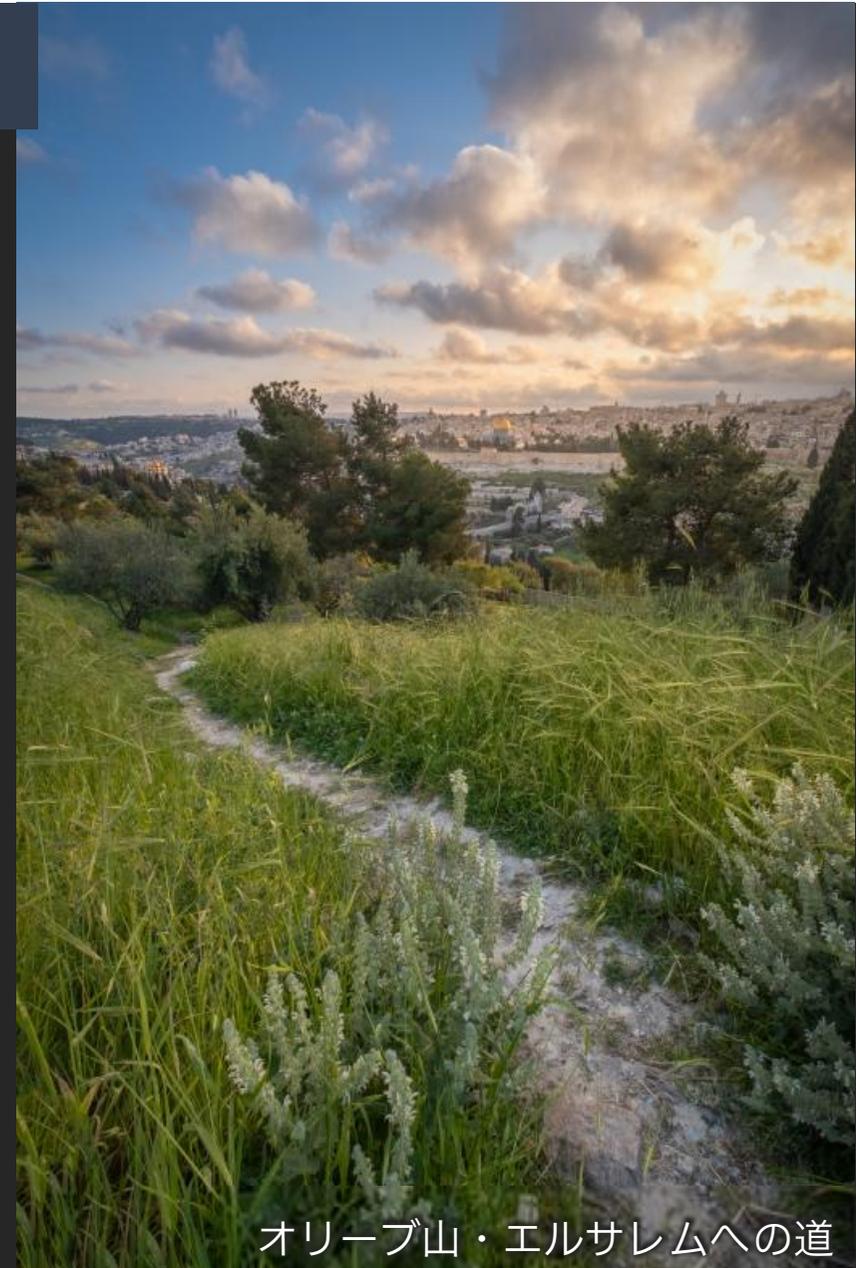
0. イントロダクション

I. ベン・ヒノムの谷で 19:1~11

II. イスラエル信仰者を蝕む偶像

III. まとめと適用

偶像を廃し、主だけを拝す

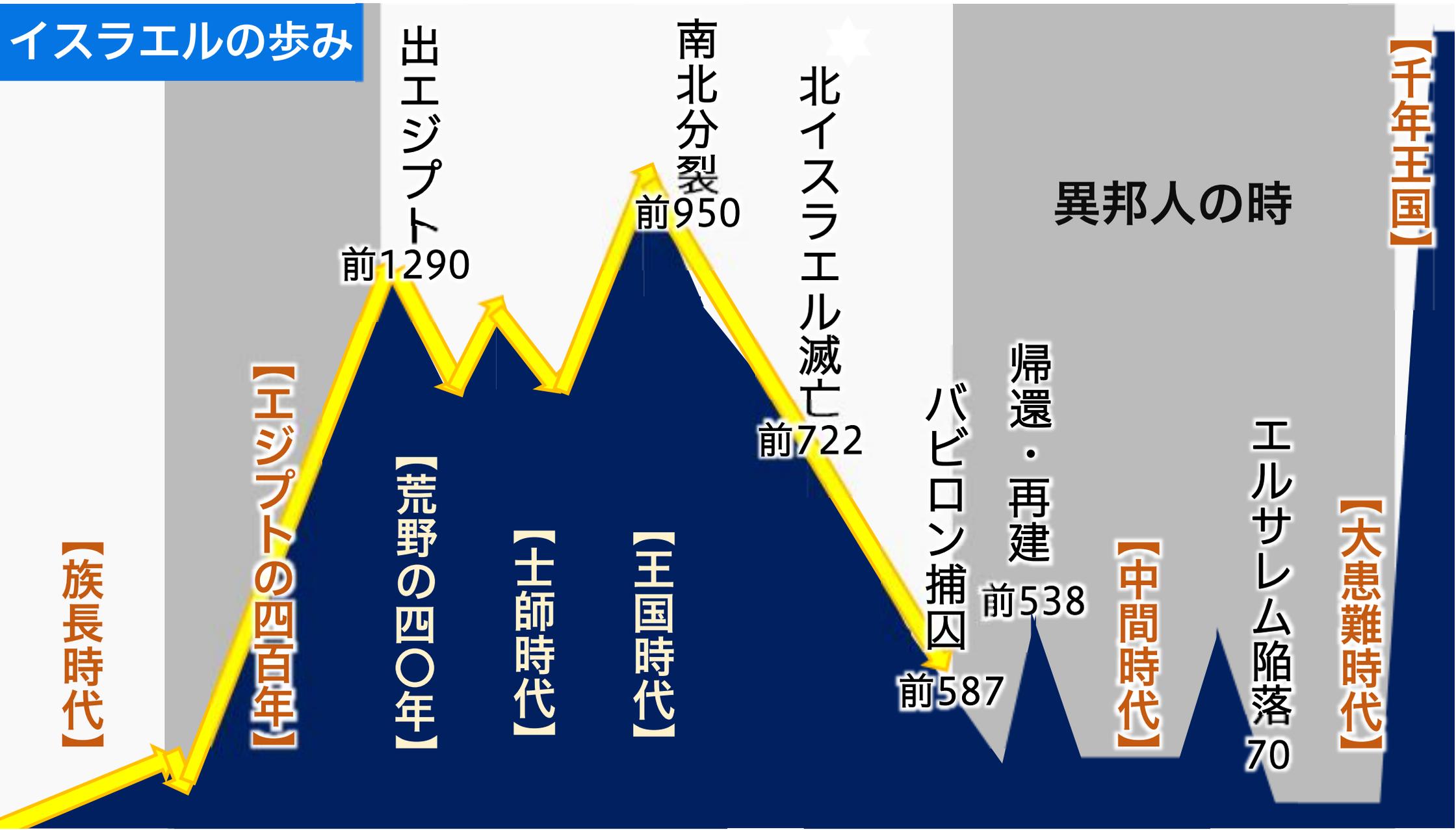


オリーブ山・エルサレムへの道



0. イントロダクション

イスラエルの歩み



【族长時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

前950

前722

前587

前538

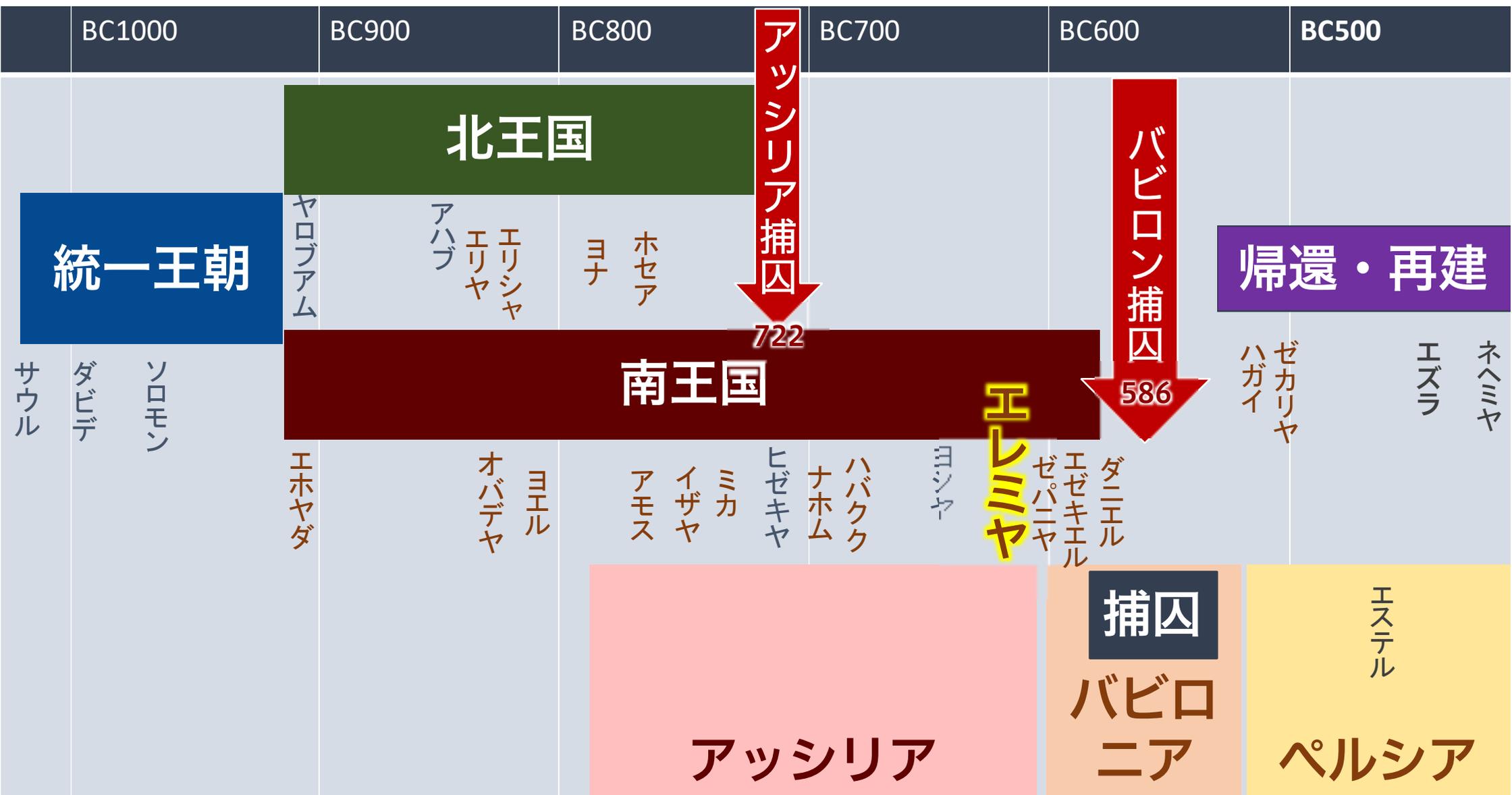
70

異邦人の時

【大患難時代】

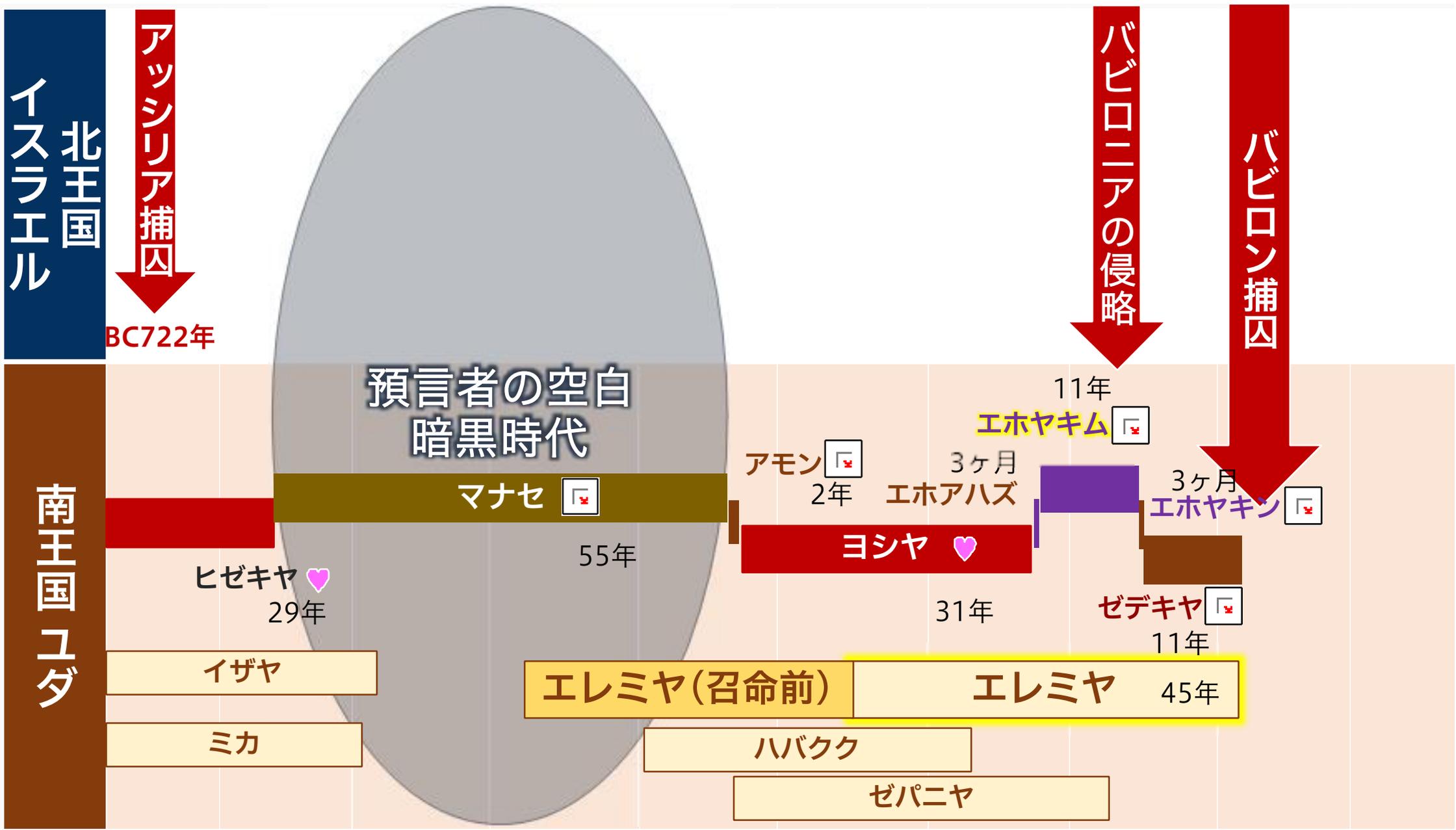
【千年王国】

イスラエル王国史



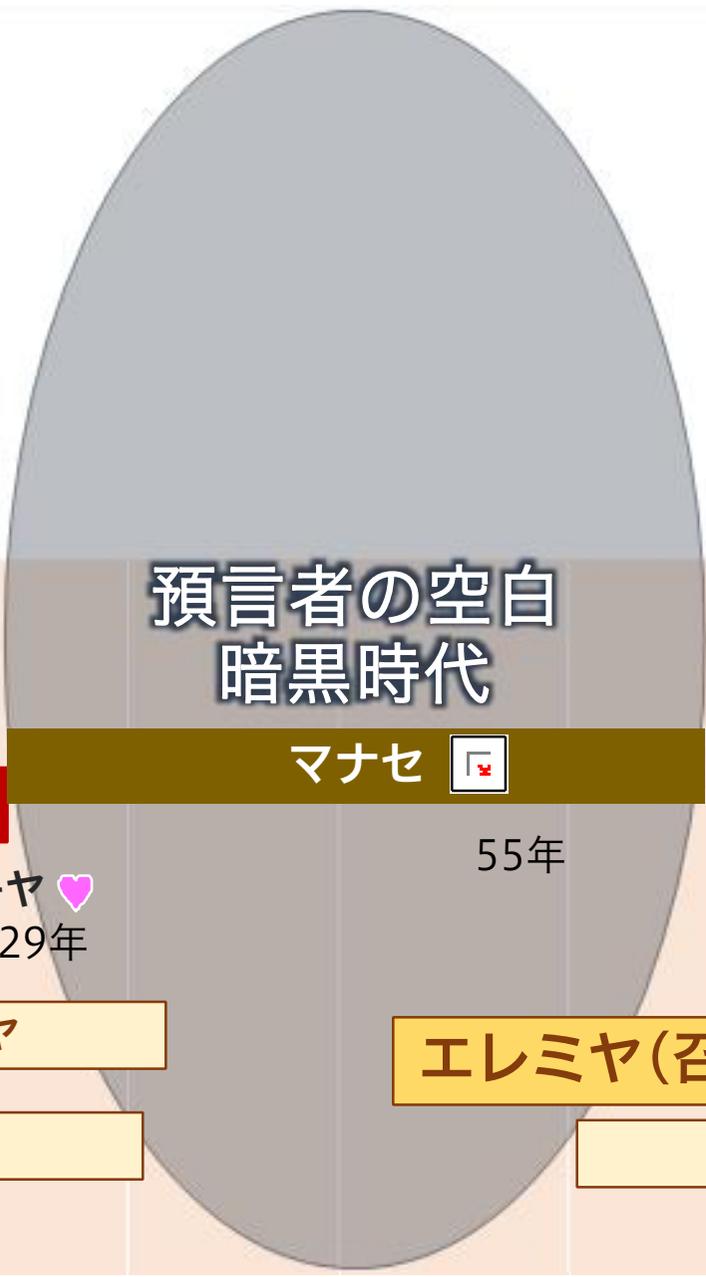
エレミヤ書の構成

| 章 | 時代 | おもな内容 |
|-------|--|---------------------------------|
| 1～12 | ヨシヤ王の時代 | エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定 |
| 13～20 | エホヤキム王の時代 | 捕囚の預言 |
| 21～38 | 混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後) | 帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め |
| 39～44 | 捕囚後 | |
| 45～51 | 混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後) | エルサレムの滅亡 諸国への預言 |
| 52 | まとめ | エレミヤの生涯 |



北王国
イスラエル

アッシリア捕囚
BC722年



バビロニアの侵略

バビロン捕囚

南王国
ユダ

ヒゼキヤ ♡
29年

マナセ ☞
55年

アモン ☞
2年

エホアハズ
3ヶ月

ヨシヤ ♡
31年

エホヤキム ☞
11年

エホヤキン ☞
3ヶ月

ゼデキヤ ☞
11年

イザヤ

エレミヤ(召命前)

エレミヤ 45年

ミカ

ハバクク

ゼパニヤ

マナセ王の罪 あらゆる形の偶像礼拝

■ Ⅱ列王記21:2~6

彼は、主がイスラエルの子らの前から追い払われた異邦の民の忌み嫌うべき慣わしをまねて、主の目に悪であることを行った。

彼は父ヒゼキヤが打ち壊した高き所を築き直し、イスラエルの王アハブがしたように、バアルのためにいくつもの祭壇を築き、アシェラ像を造り、天の万象を拝んでこれに仕えた。

こうして彼は、主がかつて「エルサレムにわたしの名を置く」と言われた主の宮に、いくつもの祭壇を築いた。

主の宮の二つの庭には、天の万象のために祭壇を築いた。

また、自分の子どもに火の中を通らせ、ト占をし、まじないをし、霊媒や口寄せをし、主の目に悪であることを行って、いつも主の怒りを引き起こしていた。

マナセ王が犯した罪

- ❶ バアルや、天の万象、偶像の神々を拝み、仕えた。
- ❷ エルサレムの神殿にすら偶像の祭壇を築き、汚した。
- ❸ 子どもを生け贄にし、霊媒や占いを行った。
- ❹ 聖絶された異邦の民以上の悪をイスラエルに行わせた。
- ❺ 咎のない者の血まで大量に流した。

マナセの罪によってイスラエルへの裁きは確定!!

もはや覆らない マナセ王の罪の結果

■ エレミヤ書15:3~4

わたしは四種類のもので彼らを罰する——【主】のことば——。切り殺すための剣、引きずるための犬、食い尽くして滅ぼすための空の鳥と地の獣である。

わたしは彼らを、地のすべての王国にとって、おのきのもとにする。ユダの王ヒゼキヤの子**マナセ**がエルサレムで行ったことのためである。



I. ベン・ヒノムの谷で

エレミヤ書19章1～15節

エルサレム

御告げ ベン・ヒノム エレミヤ19:1～2

【主】はこう言われる。「行って、土の焼き物の瓶を買い、民の長老と年長の祭司のうちの数人*とともに、陶片の門*の入り口にあるベン・ヒノムの谷*に出かけ、そこで、わたしがあなたに語ることばを叫べ。」

*主に忠実な信仰者か？！

*別名・糞門。ゴミ捨て用の南端の門。

*エルサレムの南側の谷



糞門・1940年代

御告げ

主のわざわい エレミヤ19:3

『ユダの王たちとエルサレムの住民よ、
【主】のことばを聞け。イスラエルの神、
万軍の【主】はこう言われる。見よ、わたしはこの場所にわざわいをもたらす。だれでもそのことを聞く者は、**両耳が鳴る***。

*神の永遠の厳しい裁きを示す

…エリの家への裁き(Ⅰサム3:11)、

…マナセ王とイスラエルの罪(Ⅱ列21:12)



御告げ 主の知らぬ場所 エレミヤ19:4

彼ら*がわたしを捨てて、この場所を見知らぬ所*としたからである。彼らはこの場所で、彼らも彼らの先祖も、ユダの王たちも*知らなかったほかの神々に犠牲を供え、この場所を咎なき者*の血で満たし、

*ユダの王とエルサレムの住民

*神の家が、主と何の関わりもない場所に

*史上最悪の偶像礼拝の状態を強調

*律法を守り、主に従った預言者たち



御告げ バアルの高き所 エレミヤ19:5

バアルのために自分の子どもたちを全焼のささげ物として火で焼く*ため、バアルの高き所*を築いた。このようなことは、わたしが命じたこともなく、語ったこともなく、思いつきもしなかった。

*「自分の子どもに火の中を通らせ(Ⅱ列21:6)」

*バアルのための祭壇

■以前にも同じ御告げが!!(エレミヤ7:31)



御告げ

虐殺の谷 エレミヤ19:6

それゆえ、見よ、**その時代***が来る——
【主】のことば——。そのとき、もはやこの場所は**トフェト***とかベン・ヒノムの谷と呼ばれない。ただ虐殺の谷と呼ばれる。

*主の裁きの時

*“唾を吐く”…ベン・ヒノムの谷の別名



御告げ 砕かれる謀略 エレミヤ19:7

また、わたしはこの場所で、ユダとエルサレムのはかりごと*を打ち砕く。わたしは敵の前で彼らを剣で倒し、また、いのちを狙う者の手によって倒し、その屍を空の鳥や地の獣に餌食として与える*。

*神への反逆の謀略

*同じ警告が!! …エレミヤ7:33



御告げ

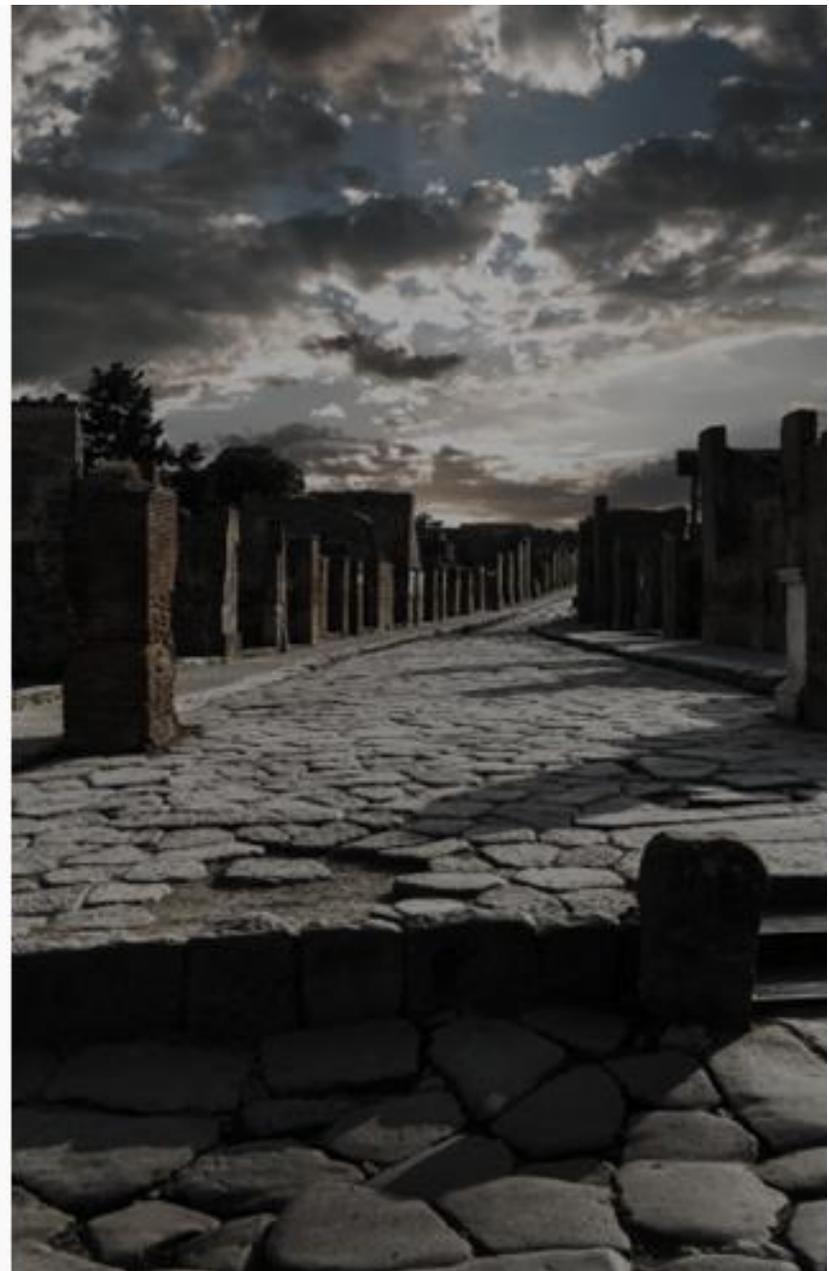
都の末路 エレミヤ19:8

また、わたしはこの都を恐怖のもと、また嘲りの的とする*。そこを通り過ぎる者はみな呆気にとられ、そのすべての打ち傷を見てあざ笑う。

*エレ18:16に同じ表現

■ 神殿再建まで、70年放置された。

■ 艱難期には、反キリストに汚され、最後には徹底的に破壊される。



御告げ

惨状 エレミヤ19:9

またわたしは、包囲と、彼らの敵、いのちを狙う者がもたらす窮乏のために、彼らに自分の息子の肉、娘の肉を食べさせる*。彼らは互いに、その友の肉を食べ合う。』

*レビ26:29、申28:53、57、イザヤ9:20、エゼキエル6:10



御告げ 砕かれた器 エレ19:10~11

そこであなたは、同行の人たちの目の前でその瓶を砕いて、彼らに言え。『万軍の【主】はこう言われる。陶器師の器が砕かれると、二度と直すことはできない。このように、わたしはこの民と、この都を砕く。人々はトフェトに空き地がないまでに葬る*。』

*ベン・ヒノムの谷が、一面葬りの地に。

■不可逆的な回復不可能な裁きが降る。



御告げ トフェトのように 19:12~13

わたしはこの場所と——【主】のことは——その住民にこのようにする。わたしはこの都をトフェトのようになる。

エルサレムの家々とユダの王の家々、すなわち、屋上で天の万象に犠牲を供え、ほかの神々に注ぎのぶどう酒を注いだすべての家々は、トフェトの地のように汚される。』」

■ 都全体がトフェト同様、汚され、破壊。

偶像礼拝者に徹底的な神の裁きが!!



御告げ 神殿で エレミヤ19:14

そこでエレミヤは、【主】が預言のために遣わしたトフェトから帰って、【主】の宮の庭に立ち、民全体に言った。

■エレミヤは谷から戻り、神殿で御告げを。



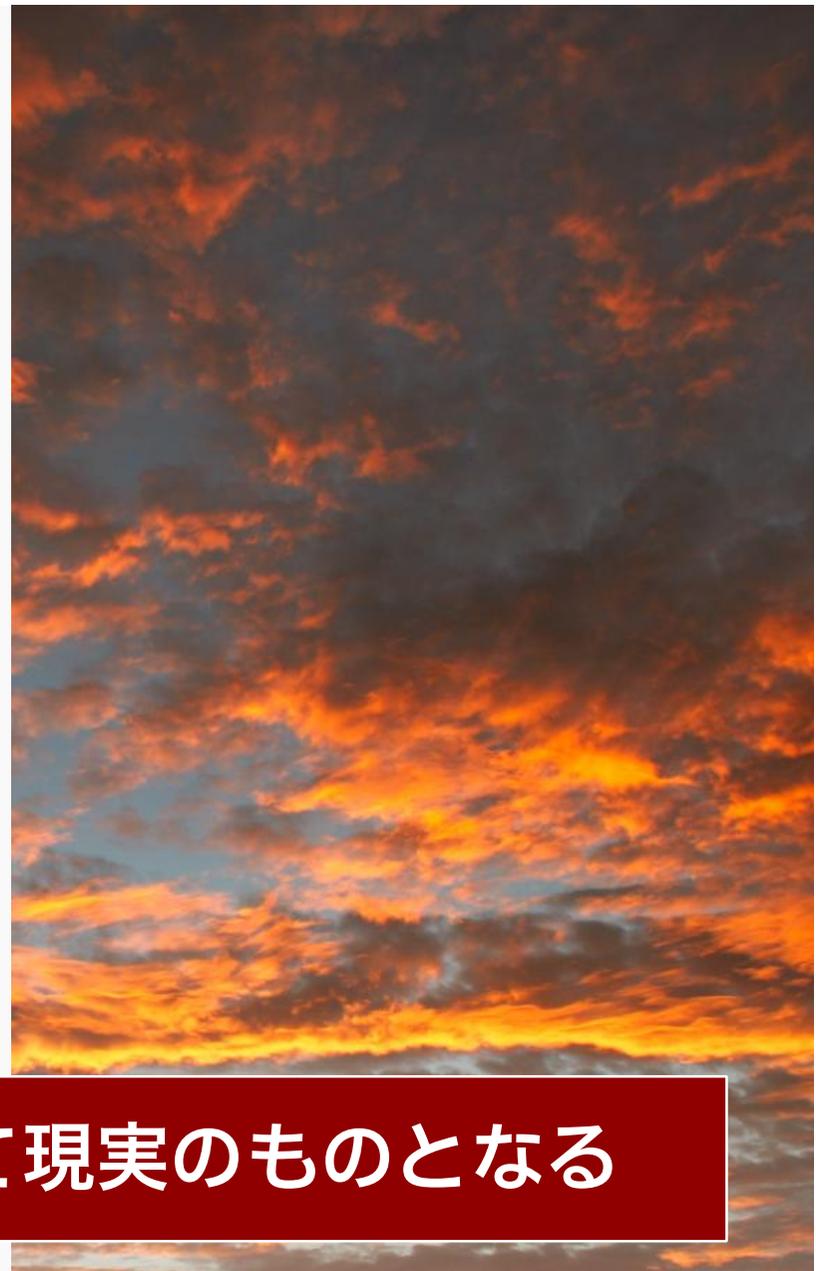
御告げ

民への宣告 エレミヤ19:15

「イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。見よ。わたしはこの都とすべての町に、わたしが告げたすべてのわざわい*をもたらす。彼らがうなじを固くする者となって、わたしのことばに聞き従おうとしなかったからである。」

*モーセが告げ、歴代の預言者が告げ、
最終の警告としてエレミヤが告げたこと。

主が告げられたわざわいは、すべて現実のものとなる





II. イスラエルと信仰者を蝕む偶像

エルサレム

イスラエルの罪の歩み

■ 葦の海を渡って間もなく、不平不満が噴出。

…パンがない。水がない。肉がない。

■ モーセが律法を授かる間に、金の子牛を造って拝む。

■ 旅だった後も、水がない、マナに飽きた、とさらなる不満が…。

■ 神が立てられたモーセに逆らい、引きずりおろし、

さらには、殺して、別の指導者を立て、エジプトに帰ろうと…。

■ コラは、生きたまま陰府へ。

この世代のイスラエルは、荒野で絶え果てることに。

イスラエルに見る 罪が深まる過程

- ① 生存欲求としての不満 …パンがない。水がない。
- ② 欲望がふくらんでいく …マナに飽きた。肉が食いたい。
- ③ たきつけられる恐怖、不安 …敵は強大、約束の地は行けない
➡不安を燃料に強まる罪
- ④ 主の権威への反抗 …ミリアムの罪、コラの大罪
…モーセを殺して、エジプトへ帰ろうと
➡最初の罪へ回帰・極まる罪への裁き

うなじのこわい民

「知りなさい。あなたの神、【主】は、あなたの正しさゆえに、この良い地をあなたに与えて所有させてくださるのではない。事実、あなたはうなじを固くする民なのだ。申命記9:6」

- イスラエルの頑なさは、最初から持っていた人の罪の性質。
 - ➔ 神の民ですらこうなら、私たち異邦人も言うまでもない
- イスラエルへの祝福は、アブラハムへの恵みの契約に基づく。
 - ➔ 人は己の正しさゆえに、神の祝福に預かるのではない。

イスラエルが陥っていった偶像礼拝

■ 律法は、世と隔絶され、きよめられるよう、教え、命じた。

→ 神が最も警戒されていたのは、カナンの**偶像礼拝**

■ 罪人は皆、**偶像**に惹かれる。

→ 人の欲望の具現化が、**偶像**。欲望を肯定し、魅惑するもの。

■ 神の知恵者ソロモンですら、晩年、**偶像**に飲み込まれた。

「ソロモンが年をとったとき、その妻たちが彼の心をほかの神々の方へ向けたので、彼の心は父ダビデの心と違って、彼の神、**【主】**と一つにはなっていなかった。 Ⅰ列王 11:4」

偶像の特徴を押さえておこう

- ① 欲望を具現化したもの …欲望を肯定し、魅惑
- ② 人の力では抗えない …ソロモンすら陥った
- ③ 罪と密着・増大 …生存欲求 →欲望の暴走 →権威への反抗
「貪欲は偶像礼拝(コロサイ3:5)」
- ④ 究極の偶像礼拝 …最終的には、自分自身が神に!!
自分の感情、感覚、思考が絶対化!!

今、教会が警戒すべき、偶像礼拝

① 捕囚後、偶像から立ち返った筈のイスラエルが陥った口伝律法。

→ 人の教えが、神の教え以上のものに!! **口伝律法も偶像!!**

② 主イエスと使徒たちが、最も厳しく警告するのは、**偽りの教え**。

→ 常に背後で働くのは、人間の感情、感覚、願望、欲望

偽りの教え・教理的逸脱も、偶像!!

無意識に教会を蝕む 現代の偶像礼拝

■ ポストモダン …絶対的真理はない。人それぞれに真理はある。

個人の感覚、感情、欲望の絶対化。

例) 性的欲望がアイデンティティに!!

■ 教会が、感覚、感情優先になれば、容易に偶像にのみ込まれる。

…御言葉より、感覚的な楽しさ、自由、魅力が優先

たった一つの立つべきところ

■ 御言葉にどう記されているか、が、すべて
「御言葉には、そうあるかもしれないが…」

➡ この時点でアウト

■ グレーゾーンだから、好きにしていっていいとはならない。

➡ どう捉えていいか明確でないのは、私たちの問題
きよい神の領域に、グレーゾーンなど存在しない。

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と
義の訓練のために有益です。 Ⅱテモ 3:16」

主が求められる信仰者のきよさ

■ エペソ人への手紙5:3～5

あなたがたの間では、聖徒にふさわしく、淫らな行いも、どんな汚れも、また貪りも、口にすることさえしてはいけません。

また、わいせつなことや、愚かなおしゃべり、下品な冗談もそうです。これらは、ふさわしくありません。むしろ、口にすべきは感謝のことばです。

このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は**偶像礼拝者**であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。

偶像礼拝は、滅びに至る罪の一つ

■ 1 コリント 6:9~11

あなたがたは知らないのですか。正しくない者は神の国を相続できません。思い違いをしてはいけません。淫らな行いをする者、**偶像**を拝む者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒におぼれる者、そしる者、奪い取る者はみな、神の国を相続することができません。

あなたがたのうちのある人たちは、以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。

試練に耐え、脱出の道を得るために

■ 1 コリント10:13~14

あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。

ですから、私の愛する者たちよ、**偶像礼拝**を避けなさい。



Ⅲ. まとめと適用

偶像を廃し、主だけを拝す

オリーブ山

ユダの最期①

■ マタイ福音書27:5～7

そこで、彼は銀貨を神殿に投げ込んで立ち去った。そして出て行って首をつった。

祭司長たちは銀貨を取って、言った。「これは血の代価だから、神殿の金庫に入れることは許されない。」

そこで彼らは相談し、その金で陶器師の畑を買って、異国人のための墓地にした。

ユダの最期②

■使徒1:16～19

「兄弟たち。イエスを捕らえた者たちを手引きしたユダについては、**聖霊がダビデの口を通して前もって語った聖書のことば***が、成就しなければなりませんでした。ユダは私たちの仲間として数えられていて、その務めを割り当てられていました。

（このユダは、不義の報酬で地所を手に入れたが、真っ逆さまに落ちて、からだ**が真っ二つに裂け**、はらわたがすべて飛び出してしまった。このことは、エルサレムの全住民に知れ渡り、その地所は彼らの国のことばでアケルダマ、すなわち『**血の地所**』と呼ばれるようになっていた。）」 ***詩編69:25、109:8**

ユダの死の真相

- ① 罪の赦しの儀式を拒まれ、銀貨を神殿に投げ返し、首をつって、エルサレムの城内で死んだ。
- ② 遺体が、ベン・ヒノムの谷に投げ捨てられた。
陶器師の畑(捨てられた陶器片)に落ち、遺体は二つに裂けた。
- ③ 血で汚れた陶器師の畑を、祭司たちが投げ捨てられた銀貨で買い取り、行き倒れのけがれた異邦人のための墓とした。

ユダの死が示す、永遠の滅び

■ ユダは、最後まで、悔い改めなかった。
主イエスに立ち返らなかった。

バビロン捕囚に
ユダの滅びの影が!!

■ 罪は認識していたが、求めたのは、偽りの赦しの儀式、
それさえ拒まれ、銀貨を投げ返し、あてつけのように自殺した。

■ 遺体が投げ落とされたのは、ベン・ヒノムの谷。
最悪の偶像礼拝の罪がなされ、裁かれた背信者が葬られた。

→ **ゲヘナ** (永遠の火の池) の名の由来が **ベン・ヒノム**

主イエスが告げた ゲヘナの滅び

■ マタイ福音書5:22

しかし、わたしはあなたがたに言います。

兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。

兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます。

『愚か者』と言う者は**火の燃えるゲヘナ**に投げ込まれます。

ゲヘナに落とされる 舌のわざわい

■ヤコブ 3:6

舌は火です。不義の世界です。

舌は私たちの諸器官の中にあってからだ全体を汚し、
人生の車輪を燃やして、**ゲヘナ**の火によって焼かれます。

メシアによる最後の裁き 白い御座の裁き

■黙示録20:12～15

また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それはいのちの書の書であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。

海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。

いのちの書に記されていない者はみな、**火の池**に投げ込まれた。

★ 偶像を廃し 主だけを礼拝しよう ★

■ 信仰者が、全力で避けるべきが、偶像礼拝。

罪人の感性に訴え、より巧妙に信者と教会を滅びに誘っている。

■ この時代が待つのは、大艱難の災厄、再臨のメシアによる裁き。

究極的には、白い御座の裁きで、永遠の滅びに落とされる。

■ 私の罪のため、十字架で死なれ、復活されたメシアだけが希望。

御言葉に反する偽りの教えを行いのすべてを退けていこう。

あらゆる偶像を拝し、主イエス・キリストだけに希望を置こう

てん　とう　わたし　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし　かみ　みこ　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　つみ　あがな　じゅうじか　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　ふっかつ　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし　みたま　す　かみ　みや
私は、御霊が住まわれる神の宮とされました。

しゅ　み　こころ
主にふわさしく、この身と心をきよめてください。

みことば　き　したが　く　あらた　はや　もの
御言葉に聞き従います。悔い改めに早い者としてください。

しゅ　かんしゃ　よろこ　しゅ　しめい　つか
主への感謝と喜びをもって、主の使命に遣わしてください。

しゅ　な　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」